

しのめケアハウス便り

ブレス & くれっしゅんど

～ひと息ついて、さあ一光に向かって生きよう～

わたしがあなたがたを愛したように

あなたがたも互いに愛し合いなさい。



NO.44

2026年 6月

ヨハネによる福音書 13章34節

出会い・いのち・尊厳 ～バトンを受けて～

2026 年度がスタートして2ヶ月。年度当初の忙しさが落ち着き、今年の計画が始動する6月。

また、6月は梅雨の真ただ中、そこで起きた地上戦があった歴史的な月で「沖縄忌」と言い表します。その中で生きぬいた傷ついた十字架を掲げる日本キリスト教団は創立120年になります。

そして、平和・人権・命の大切さを伝え、教会と教会、教会と地域を結ぶ沖縄キリスト教センターは設立40年を迎えました。しのめケアハウスはその双方の共働の場として2010年にスタートしました。

当初よりこれまで組織を立ち上げ内部規定や相談体制を整え16年間をもしのめケアハウスを中心的に担った仲宗根委員長が顧問になり、新たな相談員や運営委員が増し加えられ新運営委員会が組織されました。しのめケアハスは「私の眼には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」「わたしがあなた方を愛したように あなた方もお互いに愛し合いなさい。」の聖書の言葉を大切にしてきました。新運営委員会はこれまでの働きを心に刻みながら「愛、平和、希望をもって奉仕する」バトンを受けついでいきます。

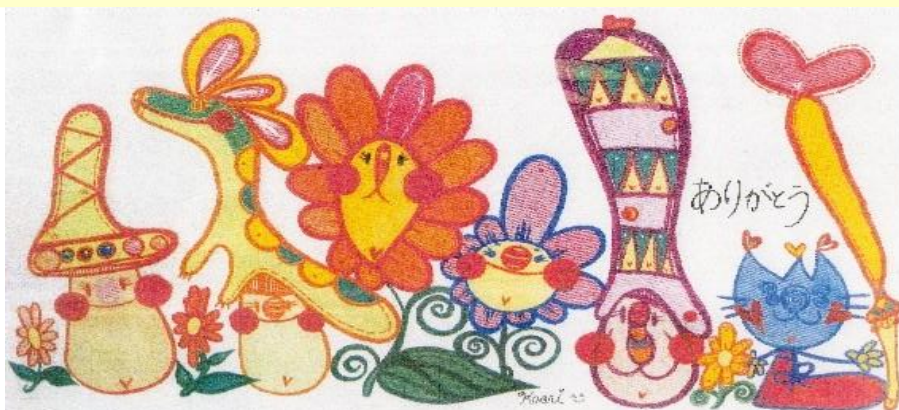
この16年間で300名余の利用者がありました。しのめケアハウスで出会い、初回面談の際には疲れ切っていた方が徐々に元気を取り戻していく姿に安堵し、次のステップを取り組み始めた時には、弱くされた女性たちの中に命育む力強さを垣間見ると希望を抱きます。なお課題を抱えながらも退所していく姿に人としての尊厳を感じ希望をもって送り出してきました。

今年は女性支援新法が制定されて3年目に入ります。困難な課題を抱えた女性たちの支援の幅が広がることを願っています。沖縄戦を生き残った方々より命を受け継ぎ、新たな命を紡いできた女性たちが

命の息吹を注ぎ込んでいる営みが大切にされることを願います。

2026年度のしのめケアハウスはDV被害関係支援者交流会や研修会、資金造成事業のチャリティーコンサート等の諸計画を準備しております。「支援を求める方」「支援者」共に学び、生かされる喜びを分かち合いたいと願っています。

これまで資金や物品等の協力をしてくださっています団体や個人の皆様に感謝と共に今後のご協力をお願いします。そして支援の幅を広げて下さる諸関係者との連携を深めて行きたいと願っています。



2025 年度 年間利用報告

2025年4月1日～2026年3月31日

1. 利用者の年齢別・理由別 利用状況 (延べ人数)

理由 年代	配偶者 等の暴力	家庭内 暴力	恋人から の暴力	貧困ホー ムレス	その他	計	割合
10	0	0	0	0	1	1	11.1%
20	1	0	0	0	2	3	33.4%
30	2	0	0	0	0	2	22.2%
40	0	0	0	0	0	0	0.0%
50	2	0	0	0	0	2	22.2%
60以上	1	0	0	0	0	1	11.1%
計	6	0	0	0	3	9	
割合	67.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.0%	100%	100%

20 家族の利用を計画したが利用者は 9 名にとどまった。10 代、20 代が 4 割、50 代 60 代が 3 割になる。利用者中 6 名が DV でその他 2 名は他施設から行き場なし紹介利用。



2. 同伴者の状況 性別・年齢 (延べ人数)

	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	18歳以上	計	割合
男	0	0	1	1	0	0	2	50.0%
女	0	0	1	0	1	0	2	50.0%
計	0	0	2	1	1	0	4	
割合	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100%	100%

同伴者は 2 名でその他は単身利用でした。



3. 紹介機関 (利用契機)

理由 年代	県女性相 談所	DV相談セ ンター	市町村	教会関係	その他	計	割合
10	0	0	0	0	1	1	11.1%
20	0	0	0	0	3	3	33.4%
30	0	1	2	0	0	3	33.4%
40	0	0	0	0	0	0	0.0%
50～64	0	0	1	0	1	2	22.2%
65以上	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	0	1	3	0	5	9	
割合	0.0%	11.1%	33.4%	0.0%	55.5%	100.0%	100%

市町村の紹介が 33.4%あり、DV センターからも 1 件あり。その他はワンストップセンターや民間シェルターからの紹介で半数を占めた。



4. 退所先

行先	県機関	市町村	アパート賃貸	親族宅	自宅	病院	シオンの家	その他	計
人数	0	0	1	1	2	0	3	2	9

アパートや自宅・親族等宅に退所することが困難な方が多くシオンの家の利用が増えた。

5. 利用日数

行先	1～5泊	6～10泊	11～15泊	16泊以上	総日数	平均滞在日数
人数	3	0	5	1	102	11.33

利用日数 15 日間内の利用が 8 件で、それを超える利用は 1 件。シオン家利用へと繋がれたために平均滞在日数が 15 日以内となった。



利用者からの手紙



支援してくださったしののめの皆様 ありがとうございます。

住居のサポートだけではなく、DV について心のケアや面談の機会があったことは、とても良かったと思いました。私は一人だと強く感じていたので、カウンセリングしていただくととても嬉しく思いました。施設に関して、私は不自由や改善して欲しいと感じたところはありませんでした。この支援がなければ私は今も苦しんでいたと思います。救ってくださってありがとうございます。感謝を忘れずに頑張っていきます。

しののめケアハウスの皆様お世話になりました。

キリスト教保育所同盟沖縄地区園長会 ～「こうのとり」の田尻由貴子先生を囲んで～

3月2日にキリスト教保育所同盟沖縄地区の園長会がお招きした田尻由紀子さんのお話を共に聞く機会がありました。田尻さんは熊本にありま慈恵病院看護部長として2007年に設立された「こうのとりのかご」（赤ちゃんポスト）の運営の中心的役割を果たし方です。今回は私用で沖縄滞在中の短い時間でしたが、設立から出逢った子供たちの事や、現在「こうのとり」で出会い、成長し大学生になる当事者と「こどもの大学」に取り組んでいるお話までパワーポイントを使いながらお話していただき新たな出会いに感謝でした。

幾度となく保育園所同盟の方々から支援金が届けられています。この出会いと関わりを通して胎児も含む子どもの人権を共に考え、命を守るために協働していきたいと願っています。



2026年度しののめケアハウス活動予定

DV 被害者支援関係者交流会開催： 6月25日（木）午後2時～4時

各機関の支援員の方々と出会い、知りたい情報を交換する機会とします。今年は女性支援新法「困難問題を抱える女性への支援に関する法律」（2024年4月施行）から3年目で各市町村等の取り組みの状況を共有していきます。



委員会研修：6月30日（火） 午後2時

沖縄市母子生活支援施設レインボーハウスを訪問し取り組みを聞きます。

DV 被害者支援関係者研修会開催：10月頃（調整中）

「命つなぐ」をテーマに関係機関と連携し「おにわ」、「こうのとり」、「性暴力被害者支援ワンストップ」等の取り組みをフォーラム形式で語り合う。

資金造成事業♡支援チャリティーコンサート：2027年1月23日（土）

毎月第2と第4火曜日午後2時00分より「きらくカフェ」

毎月第1と第3金曜日午後7時30分より「祈りと賛美の集い」



支援の広がり

女性の翼 18期

今年も女性の翼18期のみなさんより、支援金の贈呈がありました。



ジョイネス沖縄

カープスさんと協力し、1年かけて集めた支援物資の贈呈がありました。



カトリック普天間教会 女性会

定期的に教会で集めた食品を届けていただきます。



2025年度 収支決算書報告

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	25年度予算	25年度収入	科目	25年度予算	決算
支援金	1,600,000	1,930,833	室料・面談室	718,000	718,000
利用料	150,000	80,556	利用支援・免除金	271,000	43,500
利用免除金	135,500	43,500	生活・同行支援金	190,000	60,776
資金造成（コンサート）	250,000	601,702	研修・資金造成費用	150,000	129,838
研修事業	30,000	13,500	管理費	1,326,000	799,944
雑収入	15,000	13,707	什器備品	150,000	19,300
			法律相談利用費	50,000	5,500
			医療・カウンセリング	50,000	0
収入総合計	2,079,683	2,683,798	支出合計	2,905,000	1,776,858
前年度繰越金	825,317	825,317	繰越金		1,732,257
合 計	2,905,000	3,509,115	合 計	2,905,000	3,509,115

収入の部： 個人 82 件、団体 29 件から支援金が予算を超えてあり感謝です。

支出の部： 利用者数の関係で支出は少なく。同行支援金は利用者の学びの送迎支援、法律相談 1 件の支出

2025年度の支援金・献品者芳名 (2025 年 4 月～2026年3月 31 日)

(個人)

伊波美智子 仲里和花 新垣幸子 比嘉須賀子 大森節子 城間博子 仲宗根勇光 仲本晴男 喜友名コシ子 儀保由美子 国吉洋子
嘉数パウロ 宮平良彦 普天間初子 當山君子 秋山宣子 崎原末子 山口加代子 井口華鈴 普天間ともえ 上地晏江 翁長徳子
銘苅辰美 知花スガ子 福盛久子 城間枝都子 仲宗根幸子 比嘉トキ子 岡田富美子 宮平みつ子 田崎真貴子 金城徹 上地武
上地美智子 宮平友香 桃原学 知花節子 仲本瑩 島村枝美 瀬底マサ子 神谷芳美 シヴニーかおり グレイ恵子 座喜味政子
ウィリアム・エルダー 井口さゆり 大城美代子 安慶田由美子 源曜子 匿名 5 名

(団体)

首里教会 更生保護法人がじゅまる沖縄 聖公会沖縄教区 読谷教会 読谷教会サウの会 医療法人海秀会 沖縄県女性相談支援センター
沖縄県こども未来部こども若者政策課 宗教法人那覇バプテスト教会 那覇バプテスト教会有志「Party of Praise」平和のコンサート
北中バプテスト教会有志の会 日本カトリック教会那覇教区女性の会・メイ基金 ジョイネス沖縄 神愛バプテスト教会 シャローム聖霊教会
日本聖書神学校学生自治会 高原教会 うぶざと伝道所 沖縄県中部福祉事務所 沖縄キリスト教学院 石垣農村伝道所
日本キリスト教保育所同盟 ぎのわん教会 西原教会

♥ みなさまの支援金・献品が活動の支えです、感謝します。♥

聖書の言葉

わたしの恵みはあなたに十分である。（第 2 コリントの信徒への手紙 12 章 9 節）

わたしたちが人生を歩む中で、何度も失敗し、そして何度もうまく行ったなど、波の浮き沈みのような気持ちを繰り返すことがあります。そして全くだうすれば良いのか分からなくなった時、「参ったなあ」、「お手上げだなあ・・・」

と思った時、天に向かって「ああ神さまどうしたら良いのかわかりません。助けてください！」と叫ぶ時があるのではないのでしょうか。聖書にはこう書かれています「**わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮される**」（第 2 コリントの信徒への手紙 12 章 9 節）弱いからと嘆くことはない。弱い時、あなたがわたしを必要とするからこそ、わたしはあなたのために働くことができると。イエス様は言われます。

しのめケアハウス運営委員 山口八重子（石川教会信徒伝道者）

支援金 振込先： 銀行 琉球銀行 首里支店 普通 570718 名義 しのめケアハウス 委員長 仲宗根幸子
郵便 振替口座 番号 01790-3-123441 名義 しのめケアハウス

しのめケアハウスは首里教会と沖縄キリスト教センターの協働事業です。連絡先 **090-4471-7727**

発行：しのめケアハウス運営委員会 那覇市首里当蔵町2-18 098-884-2918 090-4471-7727